

目指す生徒像・教職員像 **ふじちゅうあい** 〈校長室だより R2 #23〉  
令和2年6月10日(水)発行

「自ら光り、  
人のために生きる  
子ども・教職員・保護者」  
『愛にあふれた学校を』  
『掃除・笑い・感謝』

学年目標  
1年 主体的に学習に取り組める生徒・心も体も元気のある生徒  
仲間を大切にし、協働できる生徒  
2年 未来に向かって、お互いを高め、感謝の心を実践する生徒  
3年 未来を恐れず、過去に執着せず、今を精一杯生きる生徒

2020:0610:am11:55 外から、1年生の体育の最初のランニングの、大きな声、

**「ぶじちゅう〜〜ファイト！ おー ファイト！ おー!!!」**

が聞こえます。1年生のすごく元気な声。日常が戻ってきた感じがして、涙さえ、

### コロナを超えて、、、新しい生活へ

### 今、目の前にある、全ての人に、ことに、ものに、心を込めて

33名の新入生が加わり、総勢113名の子どもたちと35名教職員（給食センターを含む）とたくさんの保護者の方、そして私たちを包み支えてくださる地域の方々、と共に、

コロナウィルスが蔓延する世界難、、、学校は休業をせまられ3ヶ月の休業  
卒業式・入学式は、在校生欠席、、、そして、6月1日、新たな始まり

子どもたちには、未来をみつめて、

『自分は、どんな人なのか』、  
『自分はどんな人を目指すのか』、  
『自分は、  
どんな未来を享受したいのか』、  
『大人になったときに、どんな  
世界・日本であったらいいのか』、  
『日光市がどんな  
未来であって欲しいのか』、



1年生の立派な態度が際立ち、印象に残る式でした。

なかなか難しいことですが、これから、そういうことを考える機会をもってもらいたいと、このコロナの件を通して、思いました。

藤原中3年目の私、裏表のない、言葉だけではない、行動をちゃんとしたい、と思っています。神さまがくれた出会いの『新たな1年』として、一日一日を心に刻み、一秒一秒を心に刻み、ひとりひとりの子どもたちの、職員の、保護者の、『今と未来』を見つめて、

かけがえのない日々を、笑顔で、感謝と共生きていきたいと思っています。  
『今年、藤中にあったという奇跡の空間』を創ってみたいと思っています。

## 本のディスプレイ棚、寄贈いただきました！！

(株)ホテルサンシャイン鬼怒川代表取締役 高橋克典様と 筑波銀行様のご厚意により、図書館に本のディスプレイのための棚をいただきました。高橋様が、ご自身が生徒であった藤原中に、恩返しをしたいと実現したものです。



高橋様、筑波銀行様、  
ありがとうございました。

## 消毒用アルコール、いただきました！！

2年生の保護者のご厚意で、消毒用アルコールをいただきました。物資が少ないところでしたので、とてもありがたいものでした。

職員一同です！！ よろしくお願ひいたします m( )m

1	池田 純子	1-1/国語/バスケット部	13	ケイ- ヲハ	ALT
2	矢野ほの香	特支2担/英語/卓球部	14	大門 悦子	美術
3	小野さおり	学校指導助手/特支	15	大塩 昇	初任者指導
4	栗原 晃一	1年主任/社会/吹・美・テ	16	飯田 拓也	スクールカウンセラー
5	齋藤 靖浩	2-1/数学/野球部	17	長田 幸子	心の教室相談員
6	桑原 理江	2-2/音楽/吹奏楽部	18	中村 貞夫	用務員
7	星 葉月	2年副担/保体/卓球・サッカー	19	笠原 淳	事務職員
8	岡部 信浩	2年主任/理科/バスケット	20	給食センター	12名の方々
9	小杉 知輝	3-1/数学/ソフトテニス部	21	板子 雅一	教務主任
10	熊谷 明子	特支1組/特支/美術部	22	小林 学	教頭
11	小松 麻里	養護教諭	23	山口 亨一	校長
12	櫻井 洋之	3年主任/英語/サッカー部			

